

よしみまち地域商品券事業 実施報告書



— 目次 —

- 【1】調査概要 …… 1
- 【2】商品券事業概要 …… 2
- 【3】商品券事業実績 …… 3
- 【4】町民アンケート調査 …… 4
- 【5】取扱店アンケート調査 …… 7

令和6年3月

吉見町総合政策課

【1】調査概要

1. 調査目的

吉見町(以下「町」という)では、電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている町民の生活を支援するとともに、よしみまち地域商品券(以下「商品券」という)を受け取った方が、町の取扱登録店(以下「取扱店」という)で使用することで、地域経済活性化の一助とするため、町民一人あたり 4,000 円分の商品券を配布する『よしみまち地域商品券事業』(以下「商品券事業」という)を実施した。

本調査業務は、商品券を使用した町民の消費行動を把握することで、町における消費喚起効果を確認するとともに、その消費喚起効果が町に事業者に与えた効果を調査分析する。

2. 調査内容

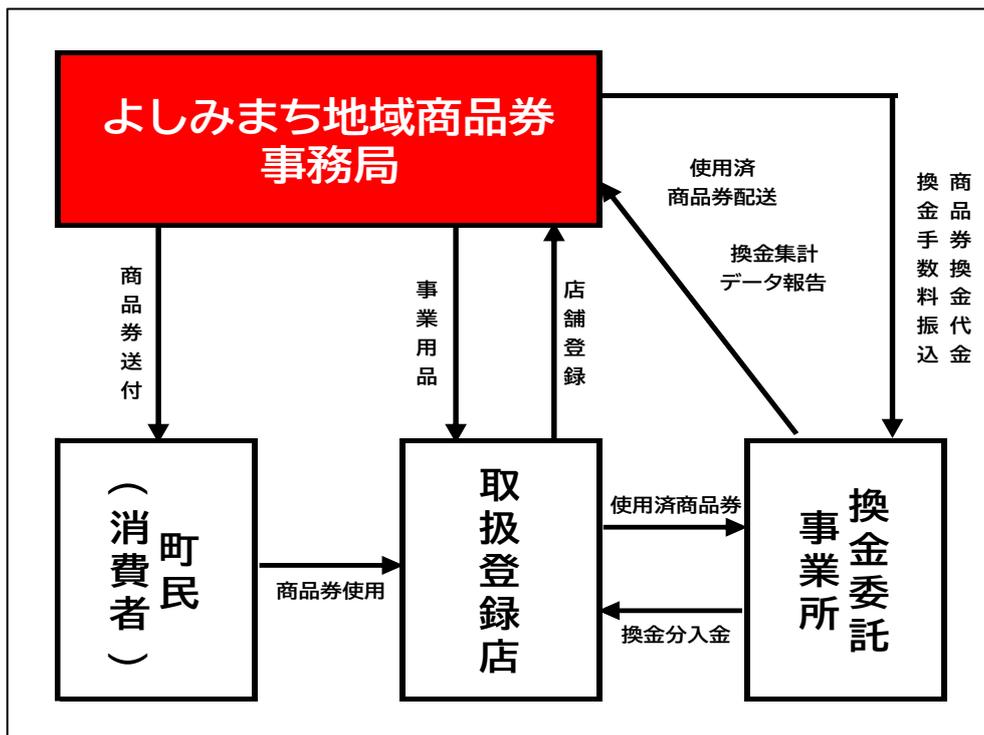
(1)商品券事業による消費喚起効果の把握

商品券を使用した町民に対し、使用状況や商品券事業の評価等について、町民向けアンケート調査を実施する。調査結果から、消費項目や消費行動の変化に関するデータを収集することで、町における消費喚起効果を把握するとともに、使用者の商品券事業に対する評価も把握することで、今後、商品券事業を実施する場合の改善施策も検討する。

(2)地域商品券事業による地元の商業振興の把握

商品券の取扱店に対し、取扱店向けアンケート調査を実施する。取扱店向けアンケート調査結果から、商品券使用者の消費行動の変化が、取扱店の業況に与えた影響を把握するとともに、取扱店の商品券事業に対する評価も把握することで、今後、商品券事業を実施する場合の改善施策を検討する。

3. 事業スキーム



【2】商品券事業概要

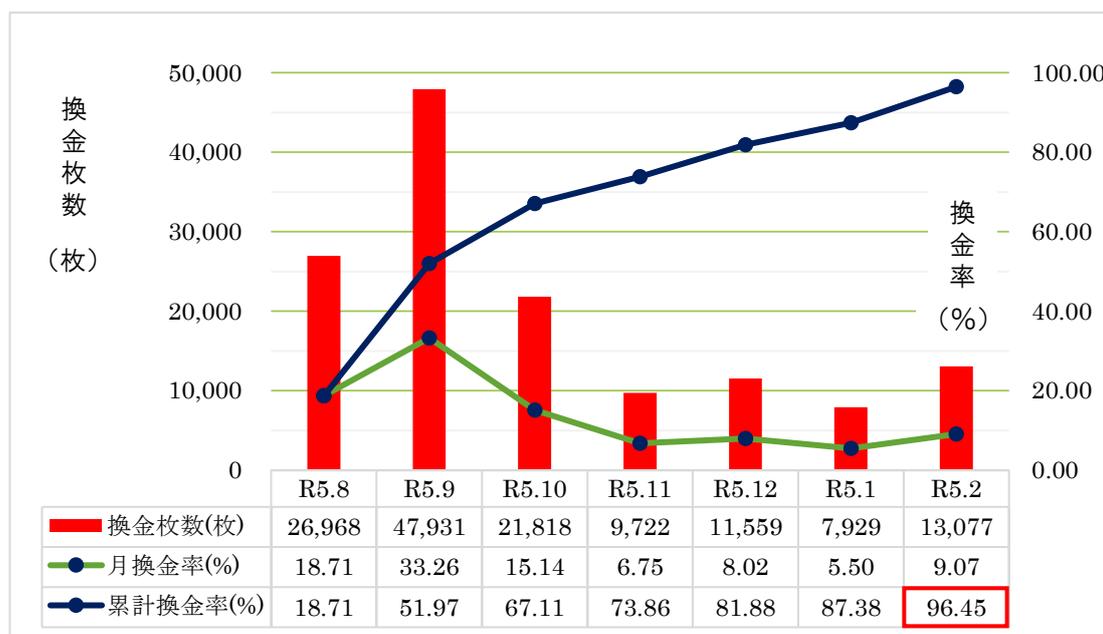
- (1) 事業目的 電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている町民の生活を支援するとともに、商品券を受け取った方が取扱店で使用することで、地域経済活性化の一助とするため。
- (2) 事業費
- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 歳入 | ※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当 |
| コロナ臨時交付金 | 70,707 千円 |
| 町一般財源 | 9,997 千円 |
| 合計 | 80,704 千円 |
| 歳出 | |
| 消耗品費 | 410 千円(ナンバリングスタンプ、コピー用紙) |
| 印刷製本費 | 1,186 千円(商品券印刷、のぼり旗、チラシ) |
| 通信運搬費 | 901 千円(商品券郵送) |
| 換金手数料 | 3,058 千円(取扱店商品券換金手数料) |
| 負担金 | 69,502 千円(商品券換金用) |
| 委託料 | 1,488 千円(商品券発送事務委託) |
| 時間外勤務手当 | 350 千円 |
| 合計 | 80,342 千円 |
- (3) 配付枚数 144, 104枚(町民1人あたり8枚)
配付総額 72, 052千円(町民1人あたり4千円)
- (4) 配付世帯 7, 936世帯 18, 013人 ※R5.7.1現在、住民基本台帳に記録されている者
配付対象者
- (5) 配付日 令和5年7月26日 ※世帯員分をまとめて世帯主宛てに郵送
- (6) 使用期間 令和5年8月1日から令和6年1月31日(6か月間)
- (7) 参加取扱店 144店舗(吉見町地域通貨取扱店舗137店舗、他7店舗)
- (8) 委託関係
- 【よしみまち地域商品券事業事務委託】**
ア:業務内容(本事業管理・運営に係る以下の業務を一括委託)
①事業周知 ②発送準備 ③商品券管理 ④窓口業務
⑤事業PR ⑥その他(取扱店管理、アンケート集計)
イ:受託者 株式会社 SMILE-LAB
ウ:契約期間 令和5年6月1日から令和6年3月31日まで
- 【よしみまち地域商品券換金委託】**
ア:業務内容 よしみまち地域商品券の換金事務
イ:受託者 埼玉縣信用金庫吉見支店
ウ:換金期間 令和5年8月1日から令和6年2月29日まで

【3】商品券事業実績

1. 配付・使用(換金)実績

配付世帯	7,936 世帯	使用総額	69,502,000 円
配付対象者	18,013 人	使用枚数	139,004 枚
配付総額	72,052,000 円	使用率	96.45 %

《表1 換金枚数及び換金率(累計)の推移》



推移としては、使用開始から2か月が経過した10月1日時点でおよそ5割が使用されており、多くの方は、商品券が配付されてから時間を置かないで使用したことがわかる。

また、2月の使用(換金)が増加しており、商品券の使用期限が切れてしまうため、使用されたとと思われる。

※7月下旬及び1月上旬に使用啓発の広報を行い、一定の効果があったと思われる。

【業種別換金状況】

業種	店舗数	うち商品券 使用店舗数	換金金額
物販	44店舗	31店舗	61,019,500 円
飲食	29店舗	20店舗	4,366,500 円
理美容	11店舗	8店舗	1,382,000 円
建設・工事	31店舗	1店舗	10,000 円
自動車・GS	16店舗	8店舗	2,410,000 円
サービス・その他	13店舗	4店舗	314,000 円

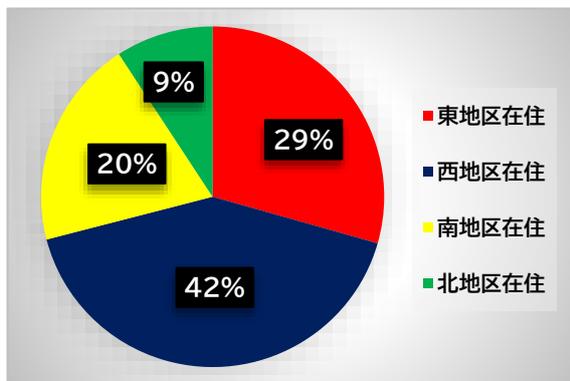
【4】町民アンケート調査

1. アンケート調査概要

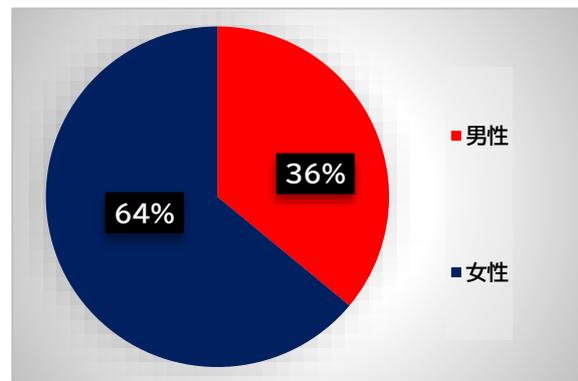
- (1) 調査目的 商品券事業の実施における商品券の使用実態等を調査するとともに、町内の消費動向を確認し、商品券事業が地域経済に対してどの程度の影響及び効果があったのかを把握することを目的に、商品券を配付した全世帯に対しアンケート調査を実施した。
調査方法 アンケートは世帯主宛てに普通郵便で郵送し、回収は、FAXやWEB(Google forms)、吉見町役場、吉見町図書交流館、悠友館、埼玉縣信用金庫吉見支店、町内郵便局に回収BOXを設置した。
- (2) 調査対象 1世帯あたり1枚(原則、世帯代表者による回答)
- (3) 調査項目 回答者属性と商品券の使用状況、事業の評価等に関する項目を設定し、商品券事業についての意見等を広く収集する。
- (4) 調査期間 令和5年8月1日(火)から令和6年1月31日(水)

2. アンケート調査結果

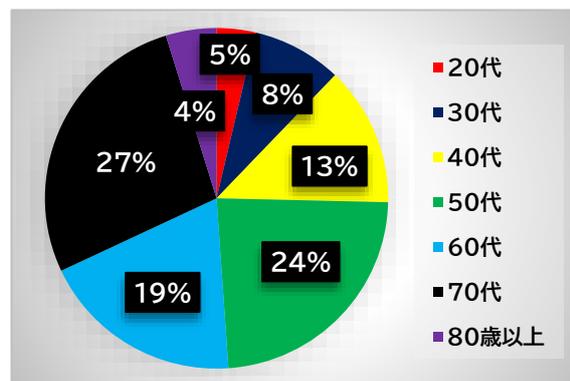
① 住まいの地域



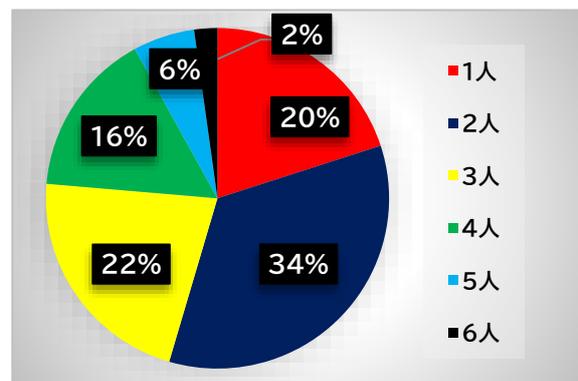
② 性別



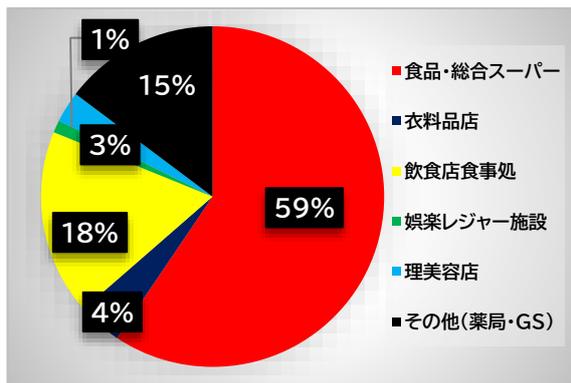
③ 年齢



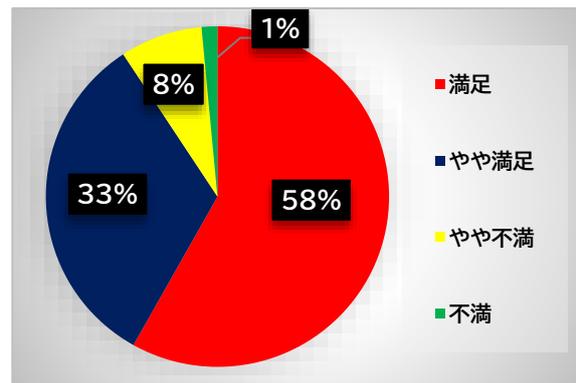
④ 家族構成



⑤ 主に使用した店舗(複数回答)



⑥ 商品券事業の「満足度」



⑥ 商品券事業の「満足度」 【理由(一部回答を抜粋)】

- ・様々な町の飲食店で外食できて満足
- ・商品券が使用できるお店が多い
- ・日用品、生活雑貨に使えるのが良い
- ・普段行けないお店にも行けるから嬉しい
- ・地元に貢献できることが嬉しい

⑦ 商品券事業に対するご意見 【理由(一部回答を抜粋)】

- ・地域での買い物を楽しむために、このような事業があると嬉しい。
- ・割り当てられる金額は決して多くはないが、普段購入しない物にも積極的に利用できるの
でとてもいい
- ・商品券事業をきっかけに町がさらに活性化して、賑やかな町になってほしい。
- ・記念になる商品サービスを買いたい気持ちがあったので嬉しい。
- ・一時的なものでなく持続的なものにお金を使って欲しい。
- ・前回は 5,000 円だったのが少なくなっていたので「やや満足」。
- ・普段使用しているガソリンスタンドでも使えるようにしてほしい。
- ・使えるお店を増やしてほしい。
- ・金額を増やしてほしい。
- ・町外からの転入者はなかなか個人店とは繋がりがないので行きづらいし、必要ない。

3. 消費喚起効果

※アンケート結果を踏まえた総務省「経済波及効果を計算してみましよう【平成 27 年(2015 年)産業連関表】」を参考に試算すると次の表のとおり効果があったものと推察されます。

回答	金額
A 普段の買い物を商品券で支払った	61,161,760 円
B 商品券がきっかけとなった <商品券での支払額>	8,340,240 円
C 商品券がきっかけとなった <追加した現金等の支払額>※	4,958,800 円

※普段は購入しないが、商品券があるため。商品券があるからいつもより高価な商品を購入・いつもより多めに購入

参考 総務省「経済波及効果を計算してみましよう【平成 27 年(2015 年)産業連関表】」

【利用目的別】 ※アンケートに基づく参考値

普段の買い物	商品券がきっかけとなった買い物	
商品券での支払い (A) 61,161,760 円	商品券での支払い (B) 8,340,240 円	商品券にプラスして 追加支出した現金等 (C) 4,958,800 円 ※
	<消費喚起総額> (B)+(C) 13,299,040 円 ※	
	<消費総額> (A)+(B)+(C) 74,460,800 円 ※	

換金総額 (A)+(B) 69,502,000 円

消費総額 (A)+(B)+(C) 74,460,800 円

「普段の買い物に使われた商品券の金額」+

「商品券がきっかけとなった買い物に使われた金額(商品券と合わせて使われた現金等を含む)」

消費喚起総額(B)+(C) 13,299,040 円

「商品券がきっかけとなった買い物に使われた金額(商品券と合わせて使われて現金等を含む)」

**消費総額 74,460,800 円は、
換金総額 69,502,000 円の約 1.07 倍**

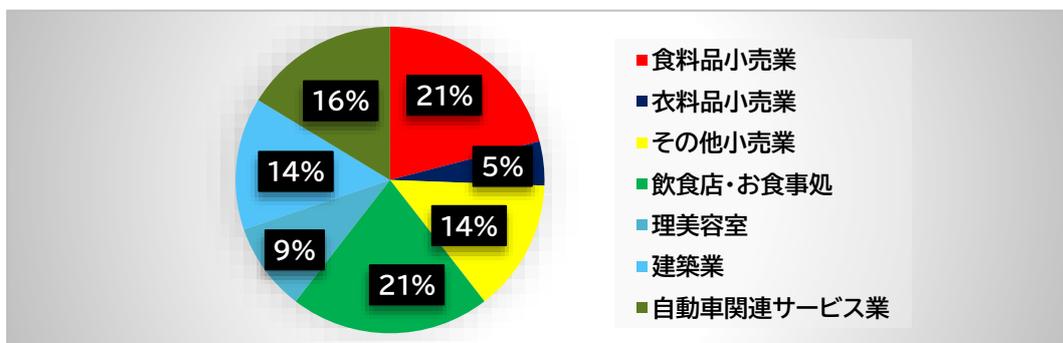
【5】取扱店アンケート調査

1. アンケート調査概要

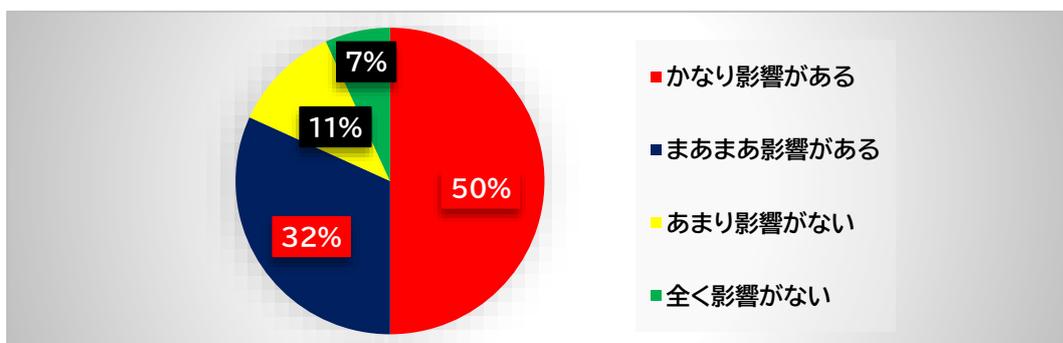
- (1) 調査目的 商品券事業の実施における取扱店の事業者の業況に与えた効果を調査し、事業者の商品券事業に対する評価を把握するため、取扱店に登録したすべての事業者に対し、アンケート調査を実施した。商品券事業に使用する取扱店証明書やのぼり旗などの事業備品とともに、『アンケート調査票』を同封し、事業所宛てにレターパックで郵送した。調査票の回収については、同封の返信用封筒にて回収を募った。
- (2) 調査対象 取扱店1店舗あたり1枚
- (3) 調査項目 回答者属性と事業者の業況、商品券事業が事業者の業況に与えた影響、商品券事業の評価等に関する質問、意見等を広く収集する。
- (4) 調査期間 令和5年8月1日(火)から令和6年1月31日(水)

2. アンケート調査結果

① あなたの業種を教えてください。



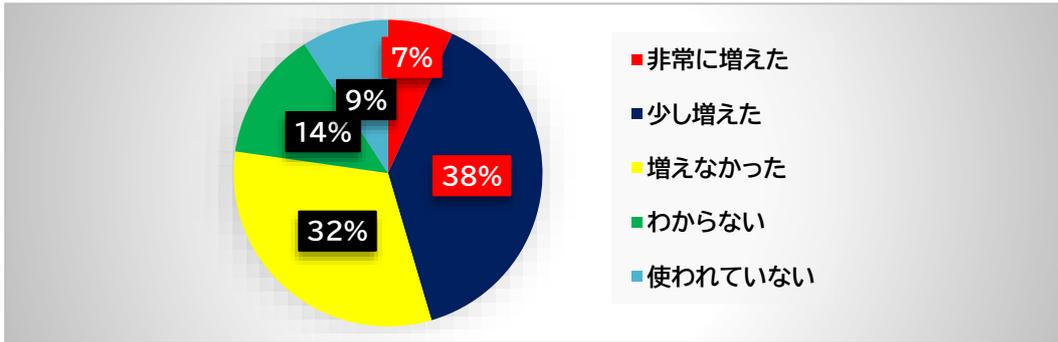
② コロナ禍において価格高騰による経営への影響はありますか。



【(82%) 影響理由について】

仕入高騰(34%)、売上減少(33%)、利益減少(20%)、雇用維持(9%)、商品欠品(9%)

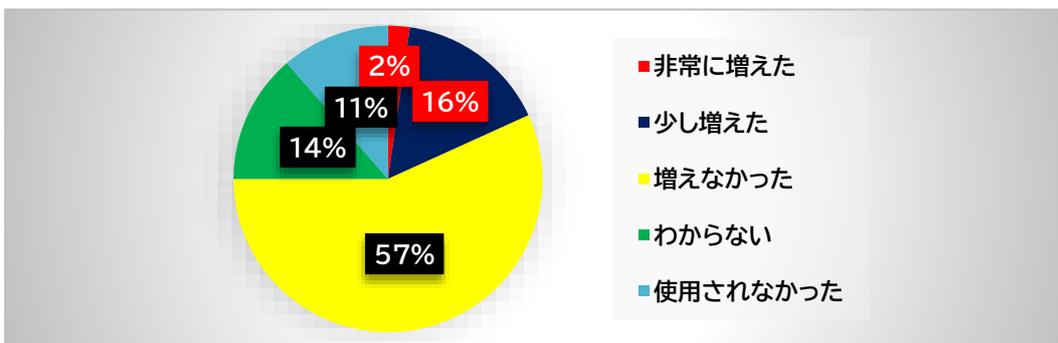
③ 商品券事業により、店舗の売上増加に効果はありましたか。



【(45%) 影響理由について】

5%未満(36%)、5%~10%(57%)、10%~20%(3%)、20%~30%(4%)

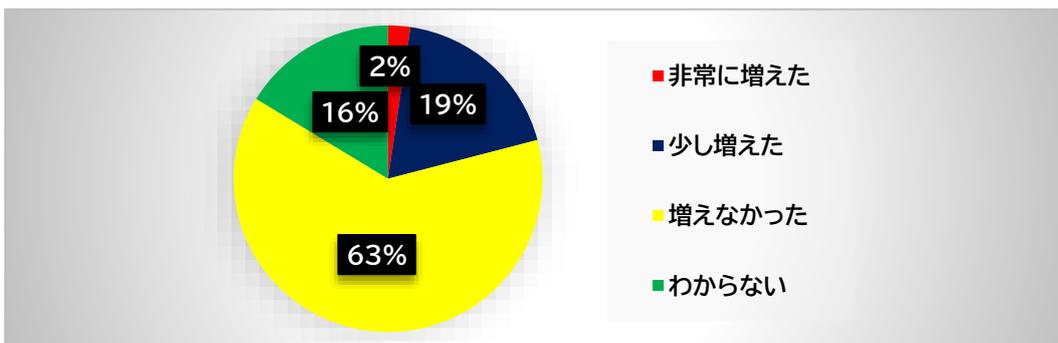
④ 商品券事業により、お客様の客単価に変化はありましたか？



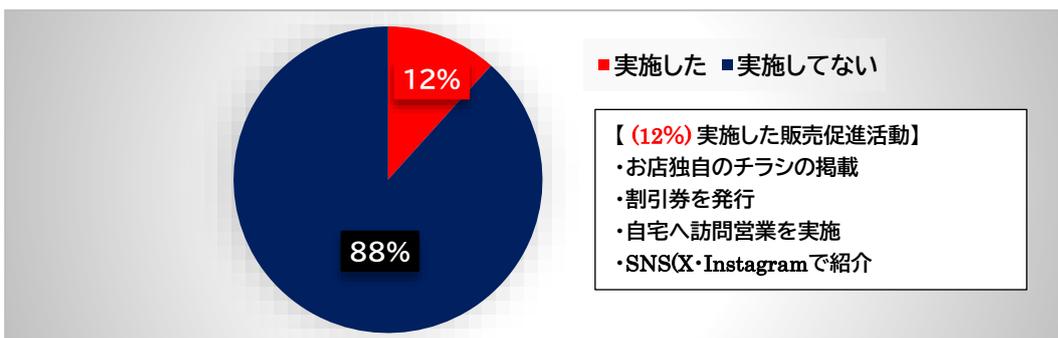
【(18%) 影響理由について】

5%未満(56%)、5%~10%(22%)、10%~20%(22%)

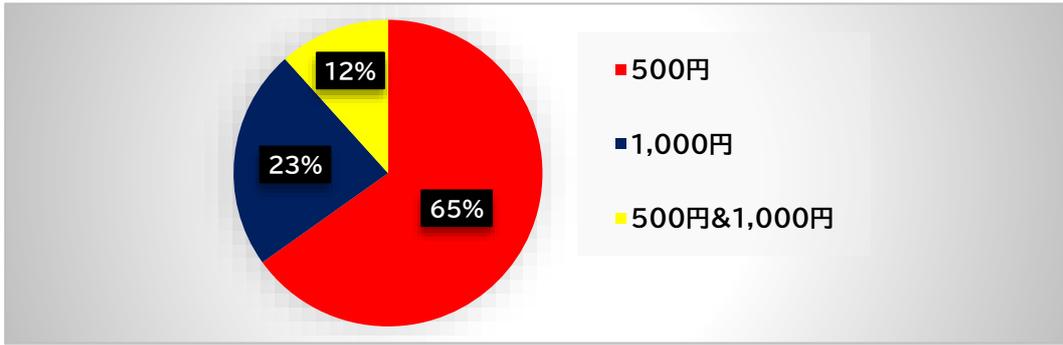
⑤ 商品券事業により、新規のお客様は増えましたか。



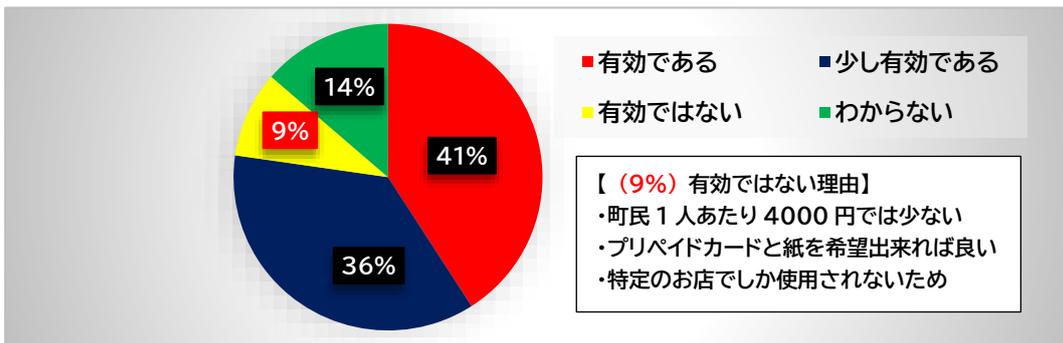
⑥ 商品券事業に合わせて、独自の販売促進活動を実施しましたか。



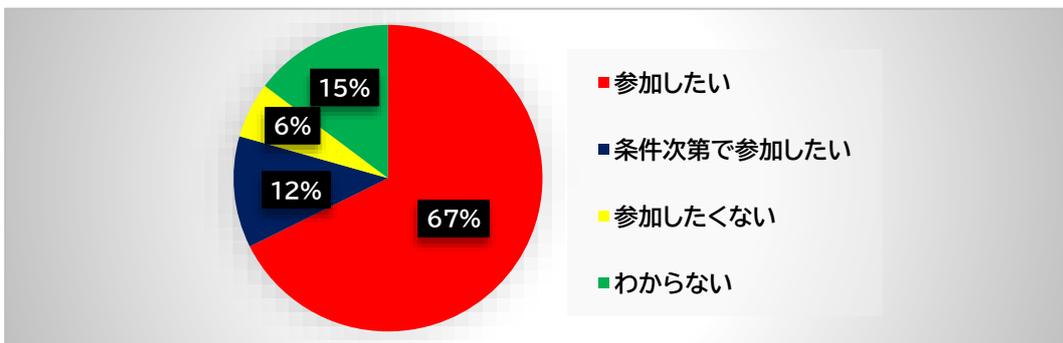
⑦ 商品券は、「500円券」で発行しました。金種についてはいかがでしたか。



⑧ 商品券事業は、町の経済活性化に有効だと思いますか。



⑨ 商品券事業を実施する場合に参加したいと思いますか。



⑩ 商品券事業に対するご意見等があれば教えてください。【理由(一部回答を抜粋)】

- ・お盆や年末年始等に再度実施してもらいたい。
- ・事業期間的にもう少し短くてよいと思う。
- ・出来るだけ多くのお店で使用できると便利になる。
- ・現金を配るよりも商品券の方が地域経済の活性化に効果はあると思うので、良い取組みだと思う。
- ・商品券の使用期間について、今回は6ヶ月と少し長いと感じた。
- ・使用期間を商品券の裏面だけでなく、表紙に記載をしてほしい。お客様が切り離して使ってもらうか、共通商品券の様にバラにもらえたら計算に時間がかからない。
- ・利用するお客様も増えるので良いと思う。
- ・換金先(金融機関)を増やしてほしい。
- ・特に効果がなく、換金の手間がかかる。他業社はわかりませんのでアンケートの結果を知りたい。
- ・証明書、印などが非常に無駄。換金に手間がかかる。